

保護者のための 交通安全テキスト

子どもが交通事故に遭わないために、保護者は繰り返し指導しましょう。
幼少期からの日々の積み重ねは、必ず子どもの交通事故防止に結びつきます。

「うまく ほめて のばす」

～交通安全は家庭から～

うちの周りが要注意



一緒に道を歩き子ども達の目線の
高さで危険な場所を見つける

まねをさせる



家族が良い手本となる行動をする

繰り返し教える



習慣づけることが大切

放置しない



あらゆる場所での危険を想定する

目を離さない



油断しない

手を繋ぐ



子どもの手首を繋ぐ

乗せる時はヘルメット



安全のために皆さんで着用しましょう

漠然と言わない



具体的に「何に」「どこで」「どのように」
するか教える

すぐ締める



子どもの安全を守るのは親の役目
日々の習慣づけが大切

さあ、交通誘導、あなたの出番です。



立つ場所はどこ？準備するものは？

- 車両進行方向から見て、横断歩道の手前に立ちます。歩道があれば歩道上に、歩道がなければできるだけ道路の端に立ち、子どもと一緒に道路に出ないようにしましょう。二人組での誘導時は、あらかじめ役割の打ち合わせを！
- 服装は動きやすく、目立つものを。両手はフリーに、雨天時はカップ着用で。



誘導の手順

早めに

大きく

はっきりと

！横断するときには、子ども自身にも安全確認をさせましょう。

1. 子どもを止まらせる

「まずは止まる」を習慣づける事が大事。

- ① 道路に対して水平に立ち、旗は左手で持ちます。
- ② 旗は子どもの前に出し、飛び出しを防止します。
- ③ 車両の流れや、右左折車をよく確認しましょう。



2. 車両に止まってもらう

停止させる権限はありません。ドライバーとのアイコンタクトが大事。

信号あり

- ① 信号が青になったら、旗を右手に持ち替え、前方斜め上に上げます。
- ② 右左折車の停止を確認したら、水平になるよう肩の高さまで旗を下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。



信号なし

- ① 車両の流れが切れたら、旗を右手に持ち替え、前方斜め上に上げます。
- ② 車両の停止を確認したら、水平になるよう肩の高さまで旗を下ろします。
- ③ 左手は、子どもの前に出したまま、飛び出しを防止します。



3. 横断を誘導する

急かしたり、青色点滅で横断させるのは厳禁。

- ① 安全を確かめたら、右手は旗を出したまま左手で誘導します。
- ② 誘導中も立ち位置は変えず、視線は車両の動きに注意を払い、安全確認を続けましょう。

